

第 24 期・第 1 回 法学委員会議事要旨

日時： 2017 年 10 月 4 日(水) 10:00～11:10

会場： 日本学術会議 6-B 会議室

出席者： 亀本洋、佐藤岩夫、高村ゆかり、高山佳奈子、中谷和弘、糠塚康江、野澤正充、
廣瀬真理子、◎松本恒雄、三成美保（◎は委員長）

欠席者： 白藤博行、土井政和、三木浩一、水野紀子、和田肇（以上、敬称略・五十音順）

議事録作成者：廣瀬真理子

議事概要

1. 役員の選出

第 24 期の法学委員会の役員として、以下の者が選出された。

委員長：松本恒雄

副委員長：亀本洋

幹事：高山佳奈子・廣瀬真理子

2. 分科会の設置・世話人の決定（期首に設置）

法学委員会の分科会として、すでに前期から継続の意思が示されていた以下の 9 つの分科会について、継続の承認と各世話人の確認が行われた（カッコ内は世話人名）。

- ・「グローバル化と法」分科会（中谷）
- ・生殖補助医療と法分科会（水野）
- ・ジェンダー法分科会（三成）
- ・「IT 社会と法」分科会（野澤）
- ・「学術と法」分科会（佐藤→亀本）
- ・社会と教育における LGBTI の権利保障分科会(三成)
- ・「市民性」涵養のための法学教育システム構築(三成)
- ・「大規模災害と法」分科会(三木)
- ・「セーフティ・ネットのあり方を考える」分科会（廣瀬）

4. その他

(1) 意思の表出について

佐藤委員（第 23 期「学術と法」分科会委員長）より、2017 年 7 月 29 日に、法学委員会と「学術と法」分科会の共催で開催された、シンポジウム「法科大学院時代の法曹養成・法
学研究者養成の課題と展望」について報告があり、その意思の表出を法学委員会と「学術と
法」分科会の連名で行うことが提案されて、本委員会で承認された。

(2) 今期の法学委員会のあり方について

松本委員長より、3年間の分科会の活動について、シンポジウムの開催や意思の表出など、学術会議の活動の成果としてのアウトプットを念頭において分科会の計画を立てるようなとの要請があった。また、他の学術分野に比べて、法学分野では「学会連合」が基礎法学分野においてしか形成されていないことから、学術会議としてこの問題にどのように取り組んでいけるかについての検討を行う方針が提案された。